

食品産業生産性向上フォーラムin 札幌 開催結果報告

2018年8月30日（木）13時より、ポールスター札幌にて、「食品産業生産性向上フォーラムin札幌」を開催した。参加者総数は296名、うち食品関係者が107名であった。他、ロボット機械関係41名、コンサル関係11名、出展者等54名、政府・公共機関49名、メディア2名、その他20名であった。フォーラムの内容は下記のとおり。

1. 趣旨説明（農林水産省食料産業局食品製造課企画官 阿部徹氏）

食品産業は外食から食品流通まで全体を含んでおり、幅広く巨大産業であるが、一方、課題として、生産性の低さが挙げられる。このような状況の中、農林水産省は、学識経験者や食品大手メーカー経営者の方々を集め、2020年代の食品産業戦略を策定する会議を開催した。その場において、所謂SWOT分析を実施した結果から、強みを活かし、アウトプットを増やすため需要を引き出す価値創造、及び海外市場の開拓が挙げられた。また、喫緊の課題として低い労働生産性の問題もある。ロボット活用等の設備投資、またはIoTやAI活用を通して労働生産性を上げ、産業の魅力を向上させることが必要となる。H29年度補正予算の「食品産業等生産性向上緊急支援事業」「生産性向上フォーラムの開催」など、行政でも、日々の生活を支える大切な食品産業の労働生産性向上に取り組んでいる。



阿部企画官 趣旨説明

2. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中泰雅氏）

食品製造業の生産性が低い点は徐々に認識されるに至ったが、今度どうするべきかを紹介する。効率が良い生産とは、投入労働力、設備、原料費と、生産物の量の関係が良いことである。生産性を向上させるには、生産性を数値で把握することで、改善の余地を把握し改善していくことが必要となる。食品製造業の生産性向上の手段として、マネジメント教育や、管理体制の強化等が挙げられる。食品工場を見学すると、細かい時間管理を行っているところが少ないのが現状。食品会社は生産物の種類が多く、視覚化すると無駄が多く見える。生産性向上に向けて、労働力の有効活用とスケジュール管理が大切である。

3. 基調講演（ものづくりテラス 林芳樹氏）

食品製造業の課題は多いが、今日は、品質管理、人材管理について、組織構造の面から事例を元に、食品製造業の組織向上を考える。品質管理面からは、開発～出荷の各フローでは早い段階で問題を解決させ、業務フローを明確にすることが押すと提言につながると具体的な考察を示す。人材管理面からは、一人一人のコスト意識を高めることが重要であると考察する。

4. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本治明氏）

人手不足の解消手段として、食品製造業からロボットシステムインテグレータへの相談が増えている現状がある。機械化への期待や、ロボット出荷額も伸びており注目度も高い。近年、センシング、AI技術が急速に発展したことが要因といえる。留意点としては、ロボットにはメリットとデメリットが存在する点、及びロボット導入が生産性向上に直結するわけではない点など、ロボット導入のポイントについて説明。

5. 先進事例紹介（株式会社米吾 坪井祥隆氏）

江戸創業、さば寿司、かに寿司等の約20種類の寿司の生産・販売を行う鳥取県米子市の会社。改善箇所のリスト化をし、進捗状況の報告会議を月1回行うこととした。人時生産性を使用し、数値化を行い18%の製造数の増加が可能となった。レイアウトの確認や物品の見直し、生産性の数値化など無駄を改善、コミュニケーションの重要性などを発表。

6. 先進事例紹介（株式会社ニッコー 佐藤一雄氏）

釧路の食品製造機器メーカー。営業所は札幌、東京にも配置している。顧客に寄り添った提案解決型に強みを有する。どのように食品産業における人手不足を解消してきたか、動画を活用し事例紹介をおこなった。ウイナーの曲がり方向を考慮⇒箱詰め、焼き菓子の検品⇒トレー詰め、ホタテ貝の自動供給などなど。

7. 農林水産省よりお知らせ

農林水産省食料産業局阿部企画官より、働き方改革に関する取組を「食品産業の働き方改革早分かりハンドブック」を用いてご紹介。

8. 経済産業省からのお知らせ

経済産業省北海道経済産業局鈴木田淳氏より、食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）・ロボットIoTワールド2018の紹介。

9. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

下記の支援事業者14社によるプレゼンテーション。
デンソーウェーブ、オムロン、三菱電機、ABB、オフィスエフエイ・コム、シンセメック、日鉄住金テックスエンジ、ニチワ電機、シナプスイノベーション、農研機構、CKD、オリックス・レンテック、石垣電材、北海道インダ

10. 交流会

上記プレゼン企業に加え、展示企業の安川電機、ロボテック、メデック、ユアサ商事、サトー、三井住友ファイナンス&リースを加え、中央の会場で交流会を行った。



フォーラム風景